



志津南

1月号 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (12/2 現在)
世帯数 2,340 総人口 6,378 人
発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

回顧 わが町2019

- 【1月】
 - 6日・市消防出初式。市長賞に追分南自主防災会。
 - 7日・まちづくりセンターのリフォーム工事始まる。
- 【2月】
 - 23日・交通防犯委員会が「なくそう高齢者の自転車事故」を目的に安全教室開催。
 - 28日・防災・環境美化事業で市の「がんばる地域応援交付金」支給決まる。
- 【3月】
 - 8日・志津南社協が守山市で石田自治会と交流会。
 - 31日・若草地区のZTVセキュリティ・告知放送サービスが終了。
- 【4月】
 - 20日・環境美化委員会が草刈り機などの安全講習会開催。
 - 22日・まち協、平成最後となる31年度定時総会開催、令和元年度予算などを決める。新会長には花澤仁左門氏を選出。三期目。
- 【5月】
 - 11日・まち協理事会が志津南まちづくりセンターの第2期指定管理者申請を承認。
- 【6月】
 - 16日・若草3、4、5丁目の自主防災会が中央公園で合同の消火・救急訓練を実施。
- 【7月】
 - 27日・ふれあい夏まつりが台風接近で2年連続中止。
- 【8月】
 - 17日・かがやきの丘町内会「かがやき祭り」開催、消防署員の指導で心肺蘇生訓練も。
 - 27日・まち協が初の事業見直し検討会開催、今後のスケジュールなど、活発に意見交換。
- 【9月】
 - 16日・学区社協が、京都橋大学和太鼓・立命館大学BKCAアカベラサークルを招き、志津南小で敬老会開催。
 - 17日・かがやきの丘の追分南6丁目交差点に防犯カメラ新設。
- 【10月】
 - 20日・まち協初の学区全体防災フェスティバル開催。新しく発電機操作や避難所生活訓練なども。
- 【11月】
 - 9日・まち協が学区内の会館、集会所6か所に発電機、投光器などを配備、防災活動に備える。
 - 28日・まちづくりセンターが草津市の「マイナンバー申請受付ひろば」を開催、61人が申請。
- 【12月】
 - 23日・まちづくりセンターで「市長とトーク」開催。テーマは「防災に関して」。

活発な意見交換が行われた「市長とトーク」

志津南学区まちづくり協議会(花澤仁左門会長)は12月23日、志津南まちづくりセンターで「市長とま



ちづくりトーク」を開催しました。まち協からは理事と事務局21人、行政側からは橋川渉草津市長ら7人が出席しました。今回のテーマは「防災に関して」で、各町内会・自治会から学区内の5つの危険個所について報告があり、活発な意見交換が行われました。

岡本町西町内会は、伯母川の雑木の撤去の必要性を訴えました。雑木や雑草が生い茂るところがあり、増水時に流木やごみ類が水路をふさぐと、川が氾濫して地区内に浸水する恐れがあることから、雑木の伐採や水路の清掃整備を要請したものです。

市長は、管理者の県に要望したところ、懸念されるところは今年度中に対応することと応じました。

追分南町内会は、名神高



住民の訴えに応える橋川市長

「防災」テーマに意見交換 学区内危険個所の報告も

市長とトーク

速道路側道や山手幹線沿いに、雨水排水路が整備されていない点を指摘しました。過去には周囲の民家が浸水したり、追分池が決壊したこともあるなど、対策が必要だと説明しました。

市長は、西日本高速道路株式会社、県道山手幹線、市道と、管理者が異なる地域の難しさを説明した上で、抜本的な解決策を関係各所と調整したいと述べました。

また、宅地開発計画が出されている地域は、業者に排水関係の対応を要請していることや調整池を設けるなどの具体的な対応策も示されました。

また若草七丁目町内会から、隣接する立命館大学を、一時避難所として利用できないかという提案がありました。志津南小学校などより近く、建物も丈夫なので、ということがでした。

市長は、立命館大学と草津市は「災害時の地域内輸送拠点指定に関する承諾」協定を結んでおり、災害物資配布などの基地にはなるが、避難場所としての協定は結んでいないので、これから働きかけていきたいと答えました。

今後も草津市と密に連携をとりながら、学区全体の防災対策をより充実させることが望まれます。

民生委員児童委員決まる

志津南学区の民生委員児童委員および主任児童委員として、次の13人が、12月1日付けで厚生労働大臣から委嘱を受けました。任期は3年です。

- 【若草一、二丁目担当】
 - ▽四方 祐子
 - 若草一丁目7の11
 - 電話(5662) 15668
- 【若草三、四丁目担当】
 - ▽大樂 悦子
 - 若草三丁目8の4
 - 電話(5664) 2375
- 【若草五、六丁目担当】
 - ▽増井 雅子
 - 若草五丁目5の1
 - 電話(5663) 9857
- 【若草七、八丁目担当】
 - ▽廣嶋 耕一
 - 若草七丁目8の12
 - 電話(5665) 6768
- 【岡本町西担当】
 - ▽高瀬佳代子
 - 岡本町10900の6
 - 電話(5666) 4107
- 【追分南担当】
 - ▽高岡野州子
 - 追分南三丁目21の6
- 【若草四、五丁目担当】
 - ▽浅野 謙一
 - 追分南六丁目6の12
 - 電話(5664) 6339
- 【主任児童委員】
 - ▽花澤佳代子
 - 若草四丁目6の11
 - 電話(5663) 7769
- ▽八木 恵美
- 追分南六丁目11の11
- 電話(575) 0936

- 【若草一、二丁目担当】
 - ▽高岡野州子
 - 追分南三丁目21の6
- 【若草三、四丁目担当】
 - ▽大樂 悦子
 - 若草三丁目8の4
 - 電話(5664) 2375
- 【若草五、六丁目担当】
 - ▽増井 雅子
 - 若草五丁目5の1
 - 電話(5663) 9857
- 【若草七、八丁目担当】
 - ▽廣嶋 耕一
 - 若草七丁目8の12
 - 電話(5665) 6768
- 【岡本町西担当】
 - ▽高瀬佳代子
 - 岡本町10900の6
 - 電話(5666) 4107
- 【追分南担当】
 - ▽高岡野州子
 - 追分南三丁目21の6
- 【若草四、五丁目担当】
 - ▽浅野 謙一
 - 追分南六丁目6の12
 - 電話(5664) 6339
- 【主任児童委員】
 - ▽花澤佳代子
 - 若草四丁目6の11
 - 電話(5663) 7769
- ▽八木 恵美
- 追分南六丁目11の11
- 電話(575) 0936

追分南子ども会 ノリノリで賑やかに

追分南子ども会連合会(堀江綾香会長)が12月1日、志津南まちづくりセンターでクリスマス会を開催しました。子ども75人余りが参加しました

まずはマミースバンド「奏」さんによるお楽しみ演奏。シングルベルなどクリスマスにちなんだ曲や、

デコレーションメガネを作る子どもたち

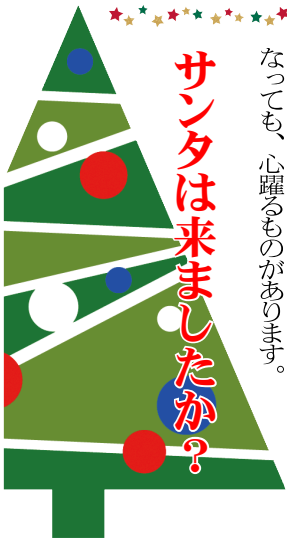


ドラえもんやパプリカなど子ども達が大好きな曲を全9曲演奏して下さいました。子ども達は歌ったり踊ったりとノリノリで、素敵な演奏を楽しみました。

その後はグループに分かれて、クリスマスデコレーションメガネを作りました。メガネのフレームに、サンタや雪だるま、ツリーなどのデコレーションの材料を貼り付け、素敵なメガネが完成しました。細かい作業でしたが、高学年が低学年の

子どもたちがワクワクする季節です。学区内のあちこちで開かれたクリスマス会。いくつになっても、心躍るものがあります。

サンタは来ましたか？



子を手伝ってあげる微笑ましい姿も見られました。最後はビンゴ大会で盛り上がり、たくさんのお菓子のプレゼントをもらって会を終えました。

愉快的なサンタさん登場



タさんが登場し、歌に合わせて踊りながら子どもたちの傍へ。とても愉快的なサンタさんに笑い声も。プレゼントを貰うと会場は大盛り上がりでした。最後はお楽しみ抽選会もあり、とても楽しいクリスマス会でした。

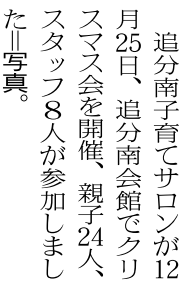
笑顔いっぱい



かがやきの丘「ふれあい広場」(堂本直美代表)は12月24日、町内会館「きらり」でクリスマス会を開催し、子どもたち80人余が集まりました。写真。

子どもたちは三角形や円形の壁飾りツリーにキラキラスターの付いたオーナメントを作って首にかけ、大きな輪になりました。部屋を暗くすると子どもたちの胸にキラキラと光る明かりがとても幻想的でした。

追分南子育てサロンが12月25日、追分南会館でクリスマス会を開催。親子24人、スタッフ8人が参加しました。写真。



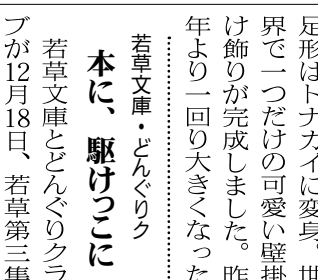
追分南子育てサロンが12月25日、追分南会館でクリスマス会を開催。親子24人、スタッフ8人が参加しました。写真。



世界で一つの壁飾り

おやこっこクラブ

追分南子育てサロンが12月25日、追分南会館でクリスマス会を開催。親子24人、スタッフ8人が参加しました。写真。



14人が参加し、恒例の手形、足形アートのクリスマス壁掛けを作りました。緑色の手形はクリスマスツリーやリースに変身。茶色の足形はトナカイに変身。世界で一つだけの可愛い壁掛け飾りが完成しました。昨年より一回り大きくなった

若草文庫・どんぐりクラブが12月18日、若草第三集会所でクリスマス会を開催。30人余が集まりました。クリスマス飾り付けがされた室内にクリスマスソングが流れる中、お菓子をいただくながら楽しくおしゃべりに花を咲かせる子どもたち。本の世界に夢中になる子どもたち。

そこの子どもたちの大好きなボランティアの立命館大学のお兄さんが姿を見せると、寒い中でも隣の公園で暗くなるまで元気に走り回って楽しく過ごしました。

最後はサンタさんの登場。プレゼントをもらってニコニコの子どもたち。サンタさんと一緒に楽器を持ってお歌も歌い、笑顔溢れるクリスマス会となりました。

ナズナ (アブラナ科)



- ひととせに一度つまるるナズナかな(芭蕉)。普段無視。正月の七草がゆの時にだけ、注目される。
- 孫達は普段無視。正月と盆だけ声かける。出番です。祝儀袋お持ちのジジババさん。実は七草がゆの味と香りの主役は本種なのです。通称「貧乏草」のイメージからは想像できませんが。葉を生で塩漬けに。またさっと茹でて、卵とじ、汁の実、かき揚げなどに。(藤井崇弘)



試してみる方は十分に安全を確かめて下さい

やすらぎ学級 「ごだわり演出で盛り上がる」

飛び入りゲストの登場で盛り上がる会場



志津南まちづくりセンターは12月18日、第7回やすらぎ学級「クリスマスコンサート」が披露されました。

サート&クリスマス会」を開催し、学級生と講師、職員、40人が参加しました。演奏者に村井教夫さん、鍋谷英明さんを迎え、多ジャンルの曲から、お馴染みのクリスマスソングまで、クラシックギターの美しく優しい音色で、名曲の数々が披露されました。また、途中で飛び入りゲストが登場し、セリフや歌

「ケーナ&シャンソンに癒されて」

なごみ会



地域サロンかがやきの丘「なごみ会」(浅野謙一代表)は12月19日、町内会館きらりりで、クリスマス会を開催しました。前半は大爺昌秀さんのケ

ーナ演奏から始まりました。ケーナは南米発祥の尺八に似た縦笛で「ガラスの貝殻」などの演奏で癒されました。おいしいケーキを食べ、一息ついたあとの後半は、木下厚子さんのシャンソン「愛の讃歌」や「恋心」など人生の悲哀を語りかけるような歌声に聞き入りました。最後は皆で「赤鼻のトナカイ」を合唱し、楽しい一時を過ごしました。



「元氣くらぶ ミュージックサロン」追分南町内会「元氣くらぶ」は12月25日、ミュージックサロンを開催しました。滋賀ハーモニカ愛好吹奏団「コーズ」(山森ふさ子代表)にハーモニカ演奏をお願いしました。第一部で演歌やクリスマスソングの美しい演奏を聞き、第二部で「上を向いて歩こう」他3曲を全員で熱唱しました。クリスマスケーキも用意し、参加者21人は、大きなケーキを頬張りながらハーモニカ演奏を聴き、談笑しながらクリスマス気分になりました。写真。



沖縄千夜一夜 <第10夜>

変わる正月

皆さん、あけましておめでとつございます。良いお正月をお迎えのことと思います。

私は沖縄で2度目のお正月を迎えましたが、暖かいということもあって、屈いた年賀状に目を通す以外は、本土のようなお正月気分とはほど遠い感じがします。沖縄では門松、注連縄(しめなわ)、鏡餅などの飾り物



お正月に食べる「いなむどうち」

はしません。親元に子や孫たちが集まって、お屠蘇やお雑煮ではなくて「いなむどうち」という汁物を食べてお祝いします。これは、白味噌仕立ての汁にラフテー(豚の三枚肉)、こんにゃく、かまぼこ、椎茸、油揚げなどが入った料理で、「猪もどき」が語源らしいです。

もともと沖縄には餅をつくという風習がありません。従って、「むーちー」と発音

は、なく、スーパーやコンビニでのおせち料理セットを注文するわけ、12月に入る予約の受け付けが始まります。それに、鏡餅のお飾りセツトや注連縄、屠蘇散(とそさん)薬用植物を調合した漢方薬)なども店頭に並びようになりました。でも、鏡開きの日とかその意味を知らない人が多いようです。付け加えれば、若い人たちの間では、晴れ着を着て神社に初詣するということはやっつけています。

沖縄のお正月が少しずつ本土化してきたということでしょうか。(中原勝一)

心はぐくむ取り組みを

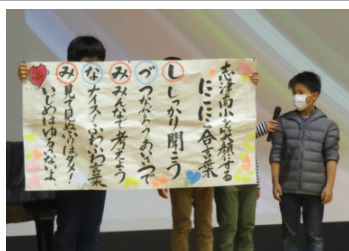
志津南小学校(水野晃校長)では、子どもたちの心を育てるさまざまな取り組みを行っています。



集会では、スローガンの発表や委員会からの提案の後、最後に「Best Friend」という曲を皆で歌いました。

感謝を忘れずに

12月13日、五年生がお米作りでお世話になった地域の方や日ごろから学校でお世話になっている地域の方々を招いて、お米の収穫



発表されたスローガン

12月2日からの一週間を人権週間とし、「自分も相手も大切にできる志津南小学校をつくらう」を合言葉に、各学年・クラスで友だちとのかかわり方や声のかけ方などについて考えました。



教室で子どもたちとの時間

子どもたちのようす。周囲への感謝を忘れずに、子どもたちがさらに大きく飛躍することを期待します。

昔から米を作るには八十八の手間がかかると言われていました。多くの人の手間と愛情を受けてお米に育っていく様子は、まるで子どもたちのようす。周囲への感謝を忘れずに、子どもたちがさらに大きく飛躍することを期待します。

人権は、全ての人のあたり前の権利だからこそ、意識しないと気付きにくいものです。一週間、意識し続けたことで、子どもたちは、自分も大切にされていることに気付き、温かい気持ちになったことと思います。祭を開きました。

体育館に集まり全体でお礼を伝えた後、各教室に戻り、百人一首をしたり、用意したおにぎりを食べたり、子どもたちと一緒に時間を過ごしていただきました。

一斉清掃 平均参加率80%近くに



寒い中、落ち葉を集める参加者たち

若草・岡本 西地区の冬の
一斉清掃が12
月8日に行わ
れました。

令和元年4
回目の一斉清
掃で、二十四
節季の「大雪」
の前日。冬本
番の寒い日で
したが、参加
者の熱い思い
で町内のあち
らこちらの集

逆境や困難に負けない子どもに

青少年育成委員会(山本
恵子委員長)が12月21日、
志津南まちづくりセンター
で「すこやかセミナー」を
開催しました。写真。



「子どもを伸ばすコミュニ
ケーション」と題して、研
修オフィスS.A.K.U.R.Aの
櫻井悦子さんが講演、約30
人が参加しました。

「大丈夫」「大切だよ」「や
ってみよう」をキーワード
に、子どもの自己肯定感を
高め、逆境や困難に負けず
に立ち直る力を身につける
方法を学びました。
ご自身の実体験やペアワ
ークを交え、笑いの絶えな
い楽しい講演でした。子ど
もを持たない参加者にとっ
ても非常に有意義な楽しい
時間となりました。

積場には、落ち葉等の小山
が数多く築かれました。怪
我もなく無事に終了しまし
た。冬の季節を肌と感じな
がら参加された住民の皆様
に感謝申し上げます。一年
間有難うございました。

は次のとおりでした。
春 719戸(79.9%)
夏 693戸(77%)
秋 664戸(73.4%)
冬 690戸(76.7%)
(総戸数約900戸)
一年間の平均参加率は約
76.8%でした。

甲賀の里に坐す平安仏を訪ねて

樺野寺本堂 (Wikipedia より)



ご本尊「木造
十一面観音坐像」
をはじめ、甲賀三
大仏の一つである
薬師如来像など20
体にも及ぶ国の重
要文化財が安置さ
れた収蔵庫に入館
しました。収蔵庫
中央の圧倒的な存
在感のある巨大な
厨子に驚きの声が
漏れました。

志津南学区社協ホランテ
ィアグループ泉(藤田清子
代表)が12月6日、一人暮
らし高齢者の方々とふれあ
いバスツアーを実施しまし
た。32人が参加、甲賀町樺
野の観音の里「樺野寺(ら
くやじ)」を訪ねました。
天台宗の古刹である樺野
寺は「いちいのかんのんざ
ん」とも称され、参道に整
然と立ち並んだ多くのお地
蔵さんに迎えられ本堂へ。

33年に一度ご開帳される
ご本尊「十一面観音坐像」
の拝顔は叶いませんでした
が、厨子の中の「十一面観
音坐像」の写真の前で手を
合わせながら、ご任職の説
明に聞き入りました。
日本一といわれる「十一
面観音坐像」は312坪の
巨像で、平安後期の傑作を
天台宗の開祖、最澄によっ
て安置したのに始まると伝
えられており、光背を入れ

るともいふもあるとか。
古くは信長、天台宗叡山
の栄枯盛衰の影響を受けな
がらも脈々と守り受け継が
れた甲賀の山里の歴史を、
少し知ることができました。

近江牛、マツタケの本場
でお楽しみのお食事と近江茶
で有名な土山の道の駅「あ
いの土山」で地場産の食材
を買い込み、元気に帰途に
つきました。

景を醸し出し、魅入られて
しまいました。写真。
彦根で昼食を取ってから
多賀大社へと向かい参拝、
散策(寿命石・さざれ石)。
多賀SAで休憩をして帰路
に着きました。



紅葉織りなす幽玄に魅入る

追分南「元氣くらぶ」は
11月22日、参加者37人で長
浜市木ノ本「鶏足寺」へ行
ってきました。
降水確率が高く天候が危
ぶまりましたが、日頃の行
いの良い善男善女の団体の
せい、天候に恵まれました。
鶏足寺では晴れ間もの
ぞき、紅葉も見頃。参道の
苔むした石段に、約二百本
のもみじの古木が幽玄な情
ねています。

午後からはどんよりとし
た天候でしたが無事雨に会
うこともなく行程通りに進
められました。

パソコンの駅

▽パソコンについての相談
▽1月25日(土)、
2月25日(火)
13時~16時
▽志津南まちづくりセンタ
ーサロン

折々の記



「♪ もういくつねるとお
正月♪」
令和元年もこんな日が近
づいて来ました。近頃は日々
の温度差がはげしく老人に
はこたえます。ついでいく
のがやっとなです。でも負け
てはいられません。人生百
迄と言われているこの時代
ですもの、自分の健康は自
分で守り、日々の生活の中
で健康維持増進に努力を重

私の健康法

老人にとって楽しい心、
安らげる最高の場所はこれ
「まちづくりセンター」です。
私も若草に住みつき二十年
余りが過ぎました。その間
自彊術を続けています。50
才~60才代の若者達にまじ

還暦をはるかに過ぎたお
まけの人生に新しい年への
想いを寄せて、自分に合っ
たことを選び、健康管理に
つとめていきたいと思ってい
ます。

令和と言う時代の始まり
に、未来の夢がふくらみ心
が浮き立つ、そんな年であ
りますように。
(90歳女性)